

善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業シンポジウムについて

区では善福寺川において、水鳥に着目し、区民とともに多様な動植物が生息・生育・繁殖できる潤いと安らぎのある水辺環境を再生・創出することを目的として、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業に取り組んでいます。

この事業の周知と区民意識の高揚を図るため、シンポジウムを開催したので報告します。

1 開催日時 令和6年1月27日（土）13時00分～15時50分

2 開催場所 勤労福社会館 ホール（杉並区桃井4丁目3番2号）

3 参加者数 156名

4 内 容

・講演

「水辺が創り出すもの ～子どもの心の成長と発育への影響～」

株式会社建設技術研究所 東京本社 環境部グループ長 土井 康義

『野鳥』ってどうやって描くの ～図鑑のように鳥を描いてみよう～」

有限会社フィールドアート 野鳥図鑑画家 谷口 高司

・活動報告

「井荻小学校活動報告 ～先輩から受け継いだもの～」 杉並区立井荻小学校

「川ガキ講座報告 ～自然から受け取ったもの～」

NPO法人すぎなみ環境ネットワーク 川ガキ復活講座受講生

「野鳥のエサの捕り方（夜間編） ～コサギの夜の採餌行動～」

中央大学附属高等学校 遠藤 勇志

・パネルディスカッション

テーマ 「ともに歩み、次世代へつなぐ」

コーディネーター（進行役） 木原 秋好（元すぎなみ地域大学学長）

パネリスト（発言者） 島谷 幸宏（熊本県立大学特別教授）

住谷 陽子（井荻小学校教諭）

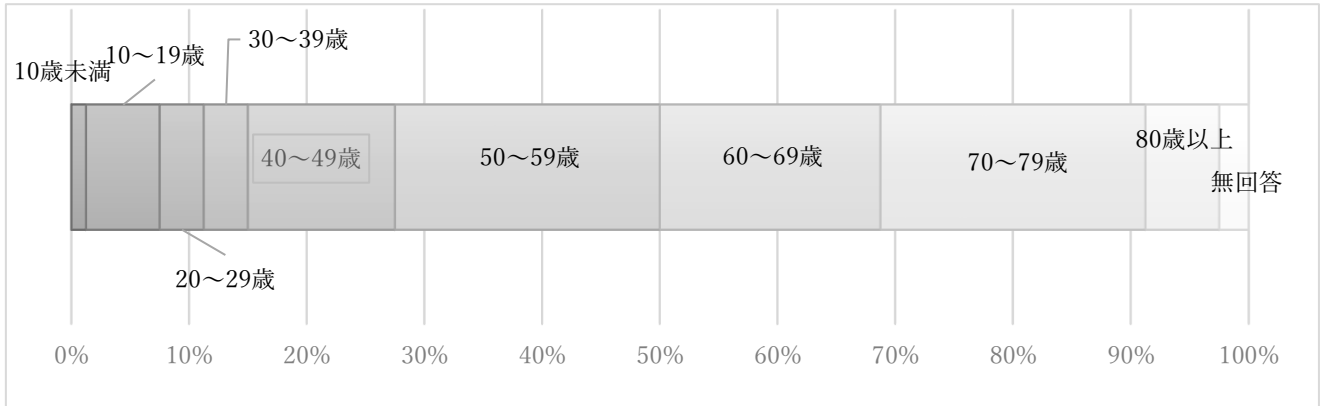
土井 康義（株式会社建設技術研究所）

5 その他

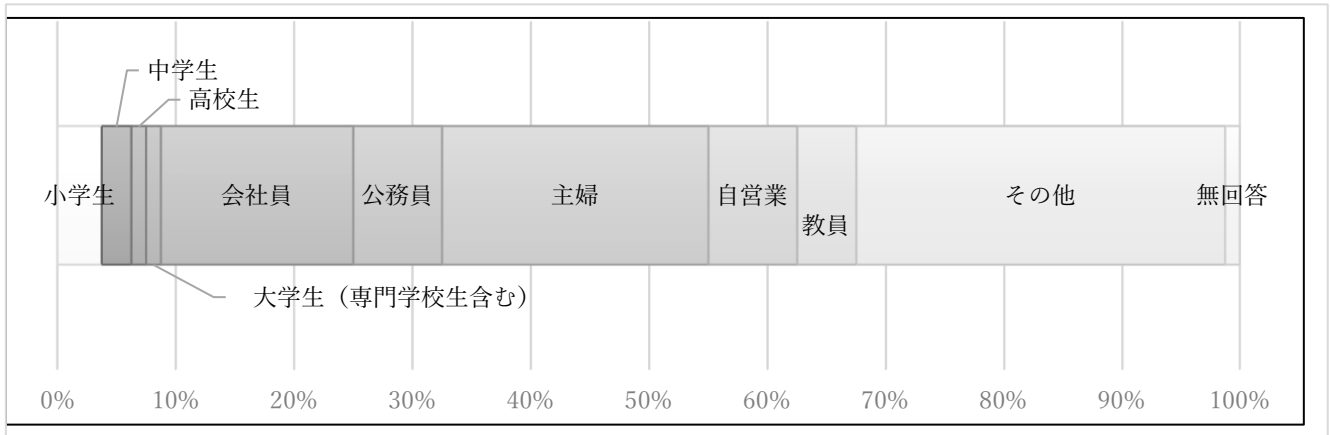
善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業シンポジウムに関するアンケート集計（別紙）

アンケート結果

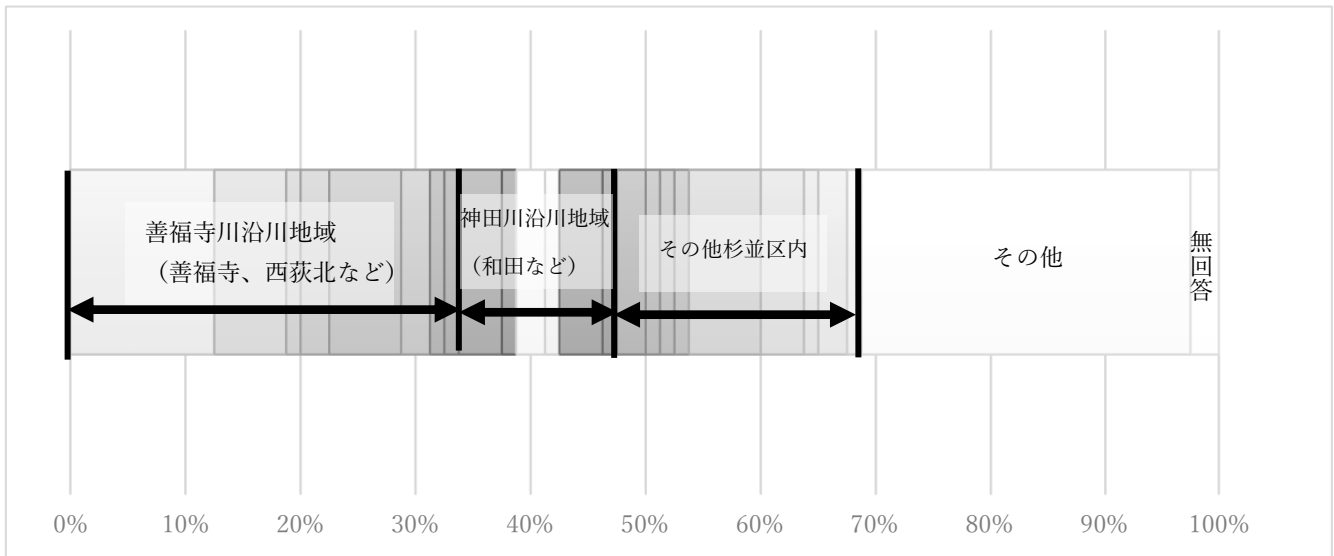
Q1 あなたの年齢は？



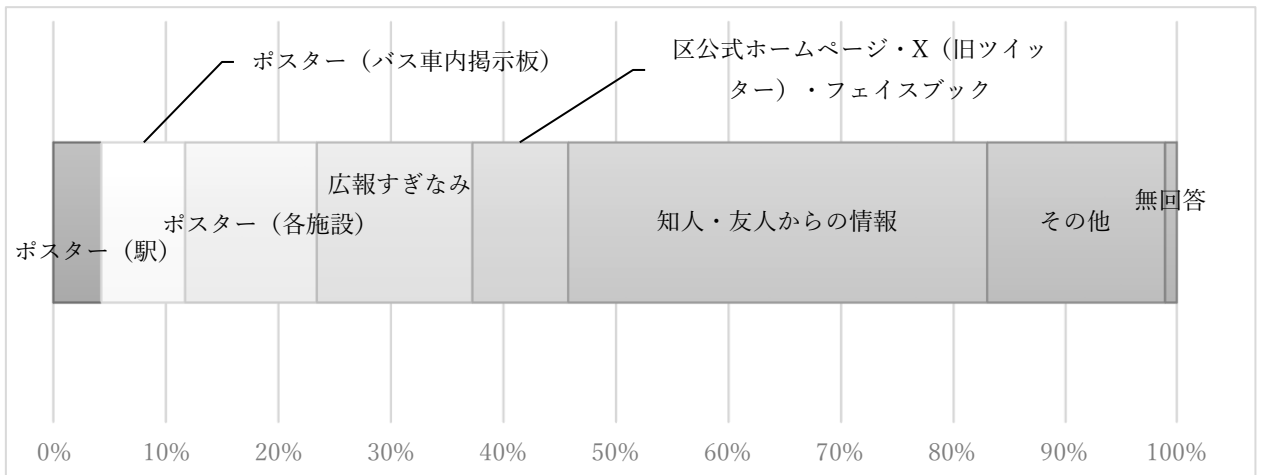
Q2 あなたの職業は？



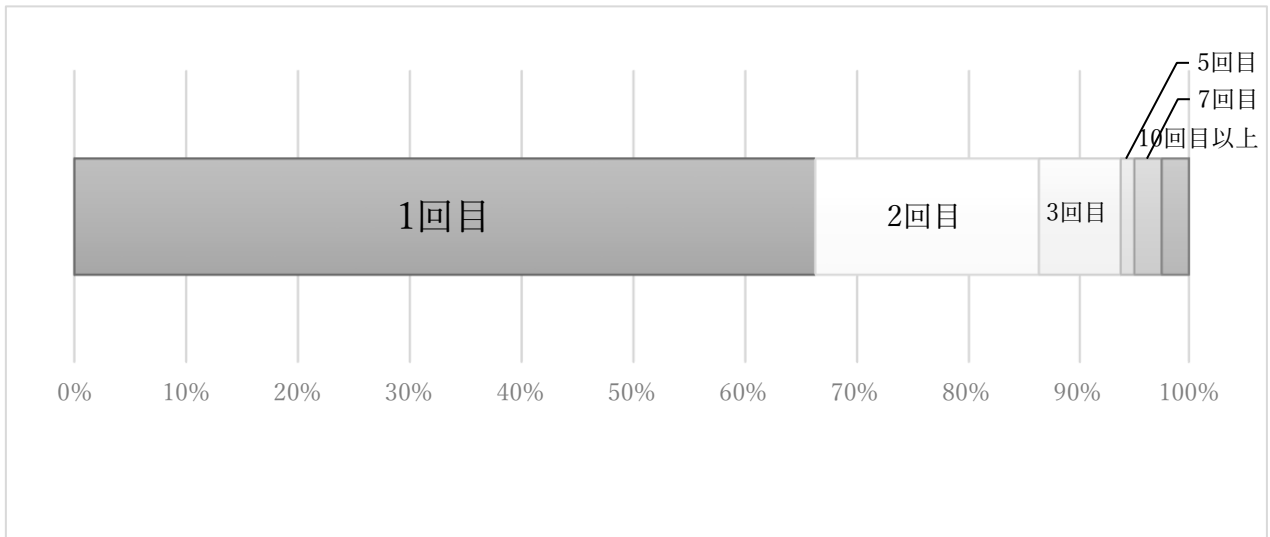
Q3 あなたのお住まいは？



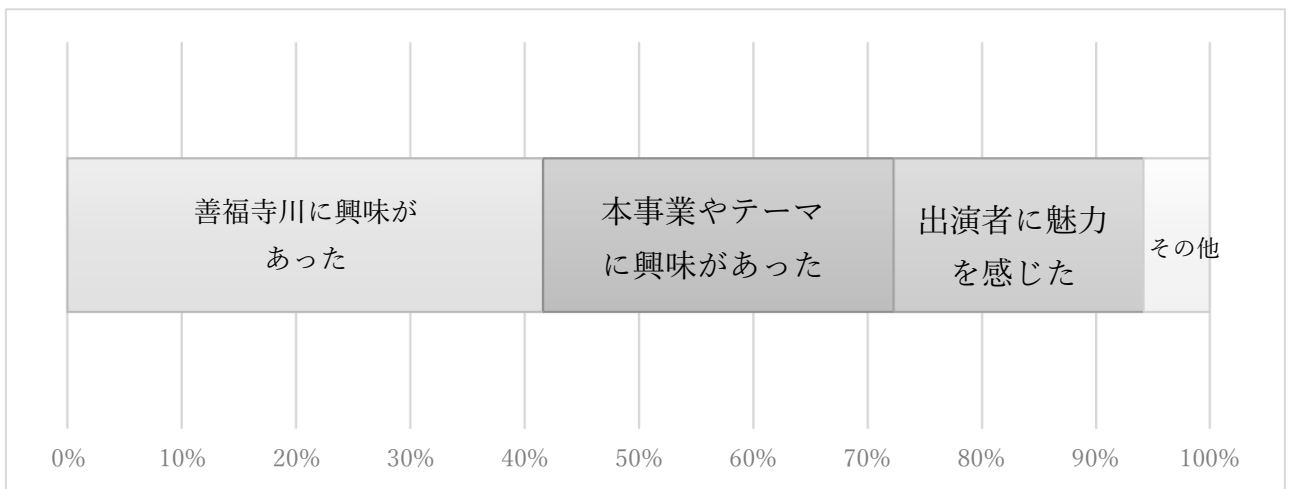
Q4 今回のシンポジウムは、どちらでお知りになりましたか？



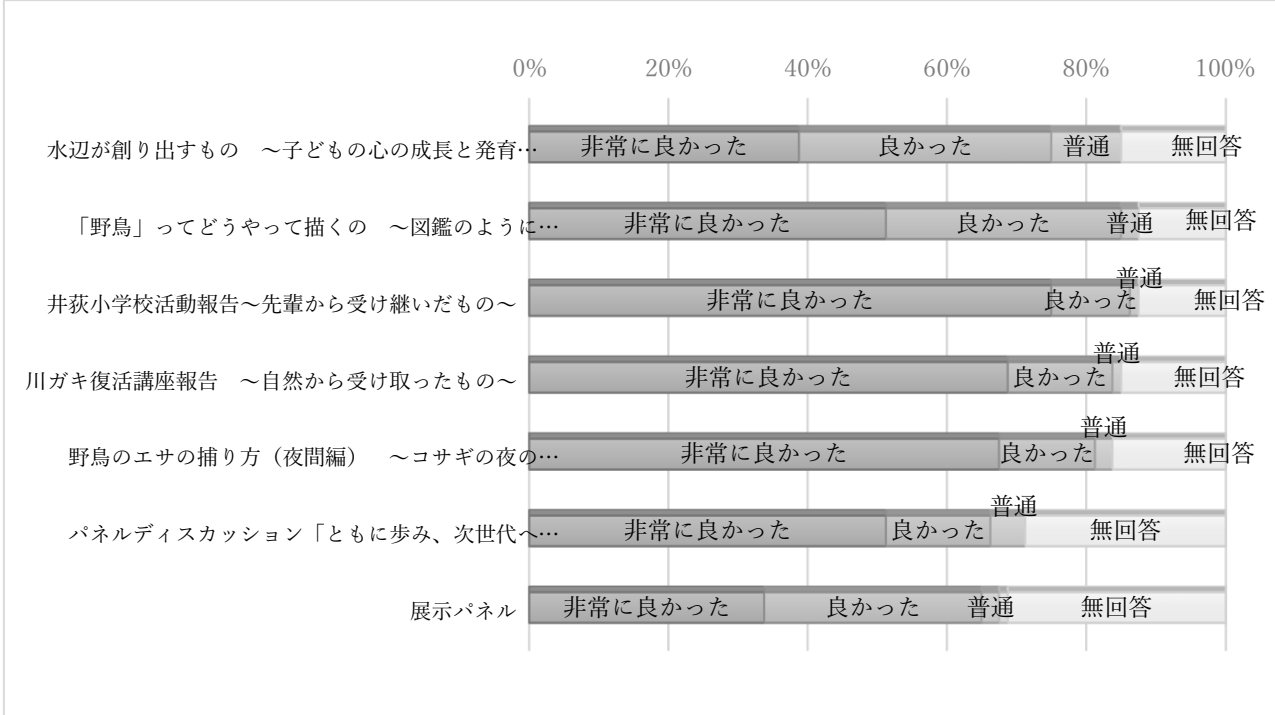
Q5 今回のシンポジウムは何度目の参加ですか？



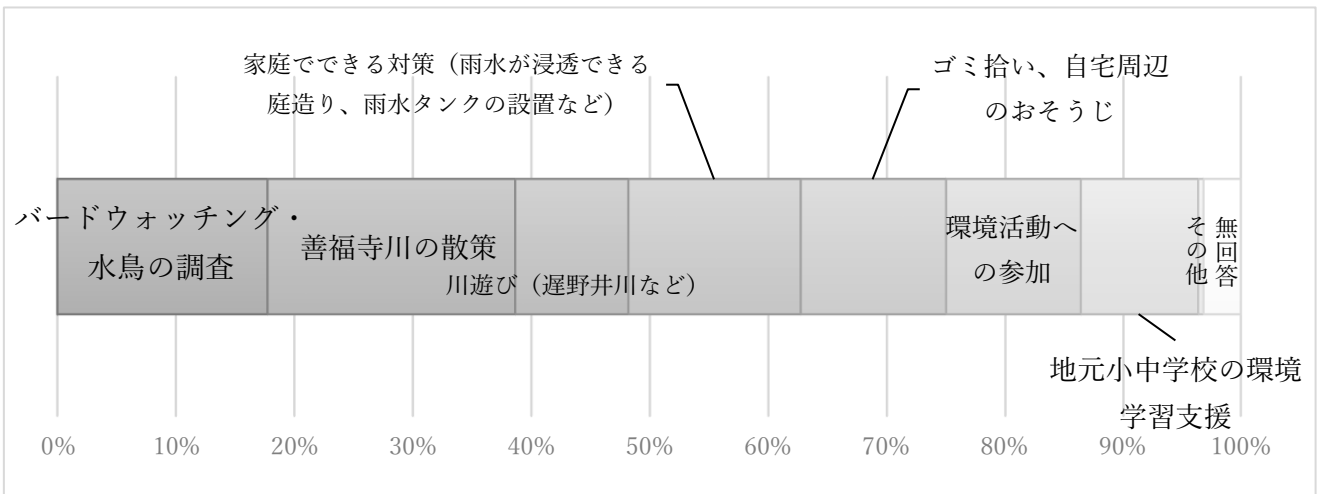
Q6 シンポジウムへの参加理由(動機)を教えてください。(※複数回答可能)



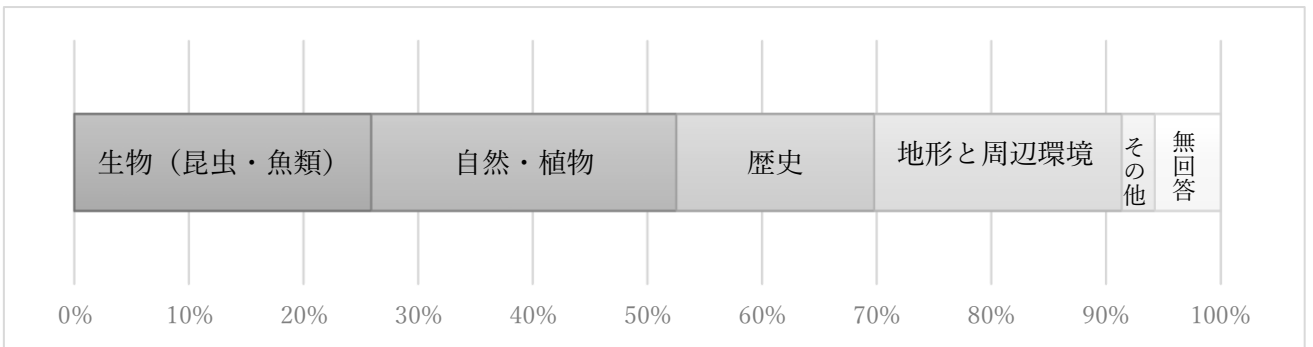
Q7 今回のシンポジウムの内容は、いかがでしたか？



Q8 今回のシンポジウムをきっかけに興味を持ち、やってみたいことはありますか？(※複数回答可能)



Q9 今後のシンポジウム (パネルディスカッション等) で取り上げて欲しい項目に○をつけて下さい。(※複数回答可能)



Q10 シンポジウムの進行や構成についてご意見・ご感想などありましたら、ご記入ください。<回答抜粋>

○小学生、中学生、高校生の発表は、年齢が上がるにつれて、より広い視野で深く研究されていることが分かりました。研究成果を大人に発信してくれて感謝しています。学ぶことが多かったです。

○プログラムが10分～25分という時間設定で、集中してとても興味深く聴くことができました。特に、子供たちの活動を知る機会が他になかったので、川に対する詳しい話にとっても感心しました。

○時間が長いので、全体的に2時間くらいにまとめるとよいと思いました。A4番のポスターを配布してほしいです。

○パネルディスカッションでは、小学校で行われた「善福寺川再生」活動を経験した卒業生たちがその活動をどう思っているか。ビデオを交えながら、各パネリストに話を聞いていくことで、子どもたちにとって善福寺川での体験は、机上の学びだけでは得られない貴重な体験であったことがよく伝わりました。

○小学生が川についてどのような関心を持っているか、仕事として関わる人たちがどのような考えで川や地域と向き合うのか、それを実際に聞ける素敵な構成だと思いました。

Q11 善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業に対するご意見・ご感想などありましたら、ご記入下さい。<回答抜粋>

○川ガキ復活講座の受講生の発表にありましたが、都市河川でありながら、川との距離が近くなるような改善、改修を期待しています。また、自分にできることもやりたいと思いました。

○井荻小学校による継続的な環境活動（実体験）のように、積み重ねはとても胸をうちました。

○子どもたちの願いである雨水が地下に浸透する仕組みが実現するとよいと思いました。

○教育、街づくりなど大事なことが詰まった内容で「より豊かに生きる」上で大事な事業です。杉並らしくて素晴らしい。

○鳥にフォーカスしているが、水生生物、植物、周りの環境が相互に関係しているのが川だと思うので、その辺が少し見えてこなかったと思います。

○今後も環境活動を続けて欲しいと思います。いつか生まれる子どもたちや、今育っている子供たちの人生を豊かにして頂きたいです。

Q12 女子美術大学に制作を依頼したポスターについて、ご感想をお聞かせ下さい。
<回答抜粋>

(別紙)

○すっきりしていて、とても親しみやすいポスターです。

○川と鳥と人の関係が分かるきれいで素敵なポスターだと思います。

○善福寺川で一番大きい鳥であるアオサギをメインに、川で遊ぶ子どもたちと一番多く見られるカルガモの親子の絵が加えられ、善福寺川の未来はこうであってほしいと思えるポスターだと思いました。

○女子美術大学の制作を継続してほしいです。これまでのポスターの展示を行ってほしいと思いました。